米 山 奨 学 委 員 会

委 員 長　藤本　邦人

副委員長　関谷　利裕

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

年間の奨学生採用数は約900人、事業費は約14億4700万円（2020-21年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で22,875人（2022年7月現在）。その出身国は、世界129の国と地域に及びます。

米山記念奨学会では、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の「世話クラブ」と「カウンセラー」制度による心の通った支援がなされます。

今年度、当クラブは、米山奨学生の符東旭（ふとうきょく）さんの世話クラブになっています。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一回以上出席し、会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

また、奨学生１人に対し、世話クラブの会員の中から１人がカウンセラーとなって、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーを務めます。今年度は難波ひとみ会員にお願いしています。

当委員会の役目は、会員に米山奨学金制度の理解をしてもらい、寄付の増進に協力してもらうことです。また、奨学生との交流を促進して、奨学生にロータリーの奉仕の心を学んでもらい、ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人材となってもらえるようお手伝いをすることです。

会員の皆様のご理解ご協力をお願いします。